

新規__企画・要件定義プロセス

1. 今回の HP 作成は、文科省の意図に従った、プログラミング教育を内容とするものである。現在、小学生用のプログラミング教室は、ロボットやプログラミング言語の学習を行っている。他方、一般の学習塾では、対面学習だけでなく、オンライン教室も導入しているが、従来通りの教科単元指導を行っているに過ぎない。

2. しかし、文科省の定めるプログラミング教育は、「文科省の認定した教科単元(学習指導要領)をプログラミング方法と思考で考えて、解答を得ることにある」。すなわち、各教科の単元の問題文をプログラミング的に論理的に考え、その思考過程をフローチャート化して、解法を得ることが文科省の意図である。

3. 私たちの作成する HP は、前記の文科省の意図に基づいて、「教科書の単元を題材として、それをフローチャート化する技術を身に付け、プログラミング的な論理思考を理解して身に付ける教育を目指している。

4. 将来の安定志向から、医学部進学者が増えているが、大学共通入学試験の「情報」では、ロボット作りの問題は出題されない。また、社会に出ても、説得力のある筋の通った論理を持つ意見やプレゼンテーションが必要になるが、それを可能にする人材を育てることが目的である。

(1) Wordpress を利用する。できるだけ安価で丁寧な作成をする業者を希望する。レスポンスは必須。LD ページも欲しいと考えている。現在の弊社の HP は、多少時代遅れで古臭さを感じている。プログラミング教育と単元学習というプログラミング教育の教室と学習指導要領に従った学塾の教室を融合した新たな教育事業という業務を前提にして、スタイリッシュな HP がほしい。

(2) できれば有料テーマ(買取)を利用する。その費用は、制作業者ではなく、弊社が負担する。

(3) Local by Flywheel を実装して、sensei LMS または MOODLE を実装して、ローカル環境を構築する。現在の HP を全面改訂するので、安全策の一つとして Local 環境にも名時 Web システムを実装し、動作の確認、弊社の web 担当者の学習の用に供したい。その際、HP 依頼業者に、メールや ZOOM プラグイン、電話で質問や疑問点を聞く環境がほしい。また、MOODLE(Free 版)か sensei LMS を実装して、問題を表示したい。

(4) プラグインは、無料でもいいが、有料の場合は、制作費と別に弊社の負担とする。

(5) トップページには、①会員でなくてもブラウザできる部分、そして、②ID とパスワードを入力して、会員向けのページにアクセスできるようにする。

非会員には、プログラミング教育の情報、単元別の例題、教育関係の情報等を無料で行わせ、入会の動機づけのツールとする。

(6) 会員用のページでは、ZOOM を実装して、生徒の選ぶ講師とのマンツーマンの授業を行う。講師を介さず、会員の生徒だけの学習自由に行えるようにする。

(7) それだけでなく、生徒は、講師一覧から自由に、講師を選択できるようにして学習できる体制もとる。継続してもよく、その都度、専門の講師を選んでよいシステムにしたい。その費用は、入会時の授業料に上乗せするか、別料金とするかは、今後の課題である。

(8) 現在の HP にも支払い方法としての、着払い、現金振り込みがあるが、クレジットカードの利用も付け加えたい。I

(9) 提供するサービスは、文科省の「学習指導要領」が定めた単元を題材にして、単元の解説→解法の解説→解法のフローチャート化→テスト→Scratch3.0 を使い、学習した単元の解法を求めるフローチャートを作成させる→Scratch3.0 でプログラミングを行う
→同種の問題を再学習する。これらは、現在販売している DVD に格納されており、また HP 上でも公開している。

(10) SNS (Skype、LINE 等) で、当学院の本部とコミュニケーションをとる。すでにアカウントは取得済みであり、Youtube でも、プログラミング専門チャンネル、スマホ専用チャンネル、教師専用の指導要綱(非売品)に基づき、テストや中学受験に出題される問題専用チャンネルを再開・運用する。なお、キャラクターイラストとして、男子の「ペック小太郎」、女子の「ペック花子」を現在、デザイナーに依頼しており、これらのキャラクターイラストに、問題解説等を行わせる。

(11) 生徒が ZOOM 等で学習しているとき、保護者が「見えるか」できるようにしたい。「今、家で学習している」ということが保護者に分かれば、保護者も安心できるであろう。共稼ぎの常態化により子供を自宅において、入社する保護者も増えている。「見守りサービス」の一環となるかもしれない。

(12) トップページ画像(静止画)のぴったりするものが見つからない。E-learning をしながら、通常の学習指導要領にのっとった学習もしている画像がほしい。

(13) トップページメニューには、講座一覧・学院の歩み・費用・お問合せ・入学申し込みのメニューを入れる。

(14)問題作成や記事も、出来るだけ弊社の社員が行うが、ライターや MOODLE(QuEdit)や sensei LMS に精通した者に発注する予定である。

(15)プログラミング教育 HP が 8 割がた完成した場合には、行政書士事務所の HP 作成を行う。業務を特化して、IT 応援隊・IT 導入補助金・テレワーク補助金推進事業の HP を早急に実施する。プログラミング教育 HP の制作者との相性が良ければ、行政書士 HP 作成も依頼するつもりでいる。

(15)現在の HP の作成は、依頼した業者の対応が悪く、アフターケアもほとんどなかったため、フリーランスの Web デザイナーか中小の Web 作成企業と十分に事前の相談を行い、依頼することにする。

(16)主要な業務は、E-Learning・DVD 教材・講師を自由に選択する・SNS によるコミュニケーションであるが、DVD という媒体には疑問を持っている、SD カードか USB メモリを併用するか、迷っている。

(17)別紙として、プログラミング教育のテキストとして使用しているものを添付する。

2022 年 2 月 3 日